

2020年2月3日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

空港の運用状況に関する定量評価サービスを開始
 シミュレーションやデータ分析を活用して、空港計画から運用までを支援

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、略称:CTC)は、空港計画に関するデータ分析や空港シミュレーションの20年以上にわたる知見をもとに、空港の運用状況についての定量的な評価診断サービスを開始します。空港の運営に携わる第三セクターや地方自治体、運営事業者などに向けて提供し、空港全体のビジネスで3年間で5件の新規受注を目指します。

2013年に「民活空港運営法」¹が成立し施行されて以来、国際的な産業競争力の強化や海外需要の取り込み、地域活性化などの目的で空港経営の民営化が進んでいます。

今回提供を開始する空港の定量評価サービスは、滑走路、誘導路、エプロン²などの飛行場、保安検査や入国審査を含めたターミナル施設などの利用状況を調査し、シミュレーションに基づく定量評価をもとに課題対策や収支計画の改善提案を行うものです。

空港のマスタープラン作成、滑走路の容量算出、運用計画の策定、運航情報システムの開発など、20年以上にわたる空港関連ビジネスの実績で蓄積したノウハウを活用し、空港運用におけるコスト削減や効率的改善の支援を行います。定量評価サービスは、空港運営の世界標準となっているIATA(International Air Transport Association、国際航空運送協会)³の空港整備マニュアル「ADRM(the Airport Development Reference Manual、空港整備マニュアル)」⁴などに準拠しており、診断内容を広く関係者と共有することで、空港運営の効率化や改善を図ることができます。

CTCは今後も、シミュレーション技術の高度化に取り組み、関連サービスを拡充していくことで、航空の総合的な発達及び、国内産業や観光などの国際的な競争力の強化、地域経済の活性化に貢献していきます。

< 空港の評価診断サービスのメニュー >

飛行場	ターミナル	周辺環境
・滑走路処理能力	・出発ロビー面積	・主要都市との交通
・誘導路利用状況	・チェックイン施設能力	・旅客種別の分析
・航空灯火	・保安検査場の施設能力	・情報システムの利活用
・スポット利用状況	・手荷物受取所の処理能力	
・GSE ⁵ 運用状況	・入国審査場の処理能力	

<CTC の主な空港関連サービス一覧>

コンサルティング	システム開発	シミュレーション	データ分析	ソフトウェア販売
・ 空港計画策定支援	・ 運航情報システム	・ 旅客流動	・ 運航実績データ	・ 各種シミュレーションソフト
・ ソリューション選定	・ 空港施設計画支援	・ 施設能力	・ 将来ダイヤ作成	・ 建設・建築関連ソフト
・ 空港関連の新技术調査	システムの構築	・ 滑走路容量	・ 空港運用データ	
・ 運用の評価診断 (今回のサービス)	・ Web 予約システムの開発	・ スポット容量		
		・ 飛行場の動線		

サービス URL: <http://www.engineering-eye.com/category/06/service.html>

¹ 「民間の能力を活用した国管理空港等の運営等に関する法律」。滑走路等の航空系事業とターミナルビル等の非航空系事業について、民間による一体経営を促進するもの。

² 旅客の乗降、貨物の積み降ろし、燃料補給、整備点検などを行う駐機場

³ 国際航空運送協会 (IATA: International Air Transport Association)。各関係機関に対して航空産業の発展、航空安全の促進、環境問題への対策等の政策提言を行うことを目的として 1945 年に設立

⁴ Airport Development Reference Manual (ADRM)。空港設計に関する世界標準の整備マニュアル

⁵ Ground Support Equipment (GSE: 航空機地上支援車両)。荷物の運搬、給油、整備などを行う専用車両

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

広報部

TEL: 03-6203-4100 / E-mail: press@ctc-g.co.jp